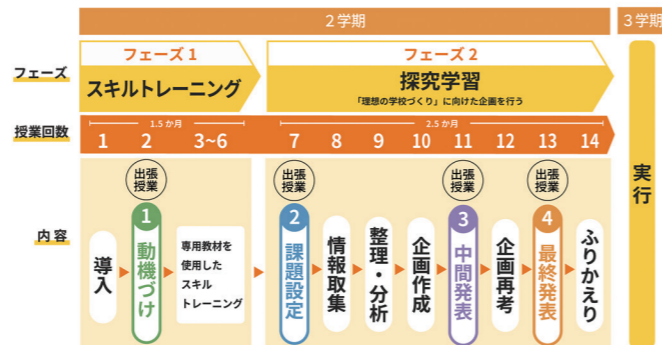


日立みらいイノベータープログラム 2023年度出張授業

日立財団は、これからの理工系人財に求められる問題発見力や、課題解決力を育成するために、小学校5年生を対象としたプロジェクト型探求プログラムとして、この日立みらいイノベータープログラムを開発しました。2016年から、日立グループ各社と連携し、出張授業を実施しています。

2023年度は、東北から九州まで範囲を拡大。秋田県秋田市、群馬県玉村町、茨城県日立市、埼玉県戸田市、大分県豊後高田市の全5校で実施しています。



戸田市立笹目小学校全4回出張授業終了

今年、創立150周年を迎える笹目小学校は、通常より早い6月からスタートしました。

動機づけ 1回目出張授業 (6月9日)

「しずむ、しずまない、ちがいは何だろう？」

水を張った水槽に食器が沈むか沈まないか、自分で立てた仮説を実験で確かめるスキルトレーニングをしました。沈む食器と沈まない食器の違いは何かについて考えました。



5年1組の様子 5年2組の様子

課題設定 2回目出張授業 (7月5日)

児童が考えた、「理想の学校」を叶えるために解決すべき課題について、日立グループの社員講師がアドバイスをを行いました。



参加講師 [敬称略] / 左上から時計回りに: 米山英彦、庄子 聡、西澤奈希、中富康夫、左近 晃

最終発表 4回目出張授業 (10月3日)

6月から学んで培ってきた力を発揮し、来年には最高学年になり笹目小をリードしていく皆さんの、エネルギー溢れる最終発表となりました。終了後には教頭先生から激励の温かいお言葉がかけられ、また日立財団の理事長からは修了証を贈呈し、児童の皆さんに喜んでいただきました。

中間発表 3回目出張授業 (9月5日)

中間発表はリモートで実施。日立グループ社員講師からのアドバイスを踏まえ、グループで協力し計画を立て、情報収集、整理・分析をして発表内容をまとめました。



左から: 小林先生、川上教頭先生、栗原先生 理事長より修了証贈呈

●日立財団のウェブサイト

<https://www.hitachi-zaidan.org>

News Letter Vol.46 / 2023.10

日立財団では、財団の活動情報を集めたニュースレターを発行しています。シンポジウム、セミナー、表彰式などの活動報告や、最新のトピックスなど、日立財団に関するさまざまなニュースをお届けいたします。ぜひご覧ください！

理工系女子応援プロジェクト

トークセッション&ワークショップ開催報告

2023年8月1日(火)、日本工業倶楽部(東京都/千代田区)3階大ホールにおいて、「私が見えがく『わたしのあした』～好きなことでつくるHAPPYな未来♪～」と題してトークセッション&ワークショップを開催し、女子中高生18名、付き添いの保護者12名およびオンライン参加の皆さまに参加いただきました。



ゲストパイオニア 榎本 麗美氏 宇宙キャスター®/J-SPARCナビゲーター/一般社団法人そらび代表理事/日本宇宙少年団 東京日本橋分団長

インタビューア 堀 潤氏 ジャーナリスト/元NHKアナウンサー

グラフィックファシリテーション 山田 夏子氏 株式会社こと総合研究所 代表取締役/一般社団法人グラフィックファシリテーション協会 代表理事

トークセッション



ゲストパイオニアに宇宙キャスター® 榎本麗美さん、インタビューアにジャーナリスト 堀潤さんをお迎えし、子どもの頃から宇宙に思いを馳せ、「宇宙キャスター®」という職業をご自身で創り出した榎本さんの経歴についてお聞きしました。その内容を、グラフィックファシリテーターの山田夏子さんが、即座に「見える化」することで、トーク内容の理解が深まりました。

ワークショップ



山田夏子さんによるワークショップ前半では、「未来をつくる私の仕事!」と題したグループワークを実施。自分の中にある「好き」について、なぜそれが好きなのか、心の奥にある「好きの要素」を考えました。後半のテーマは「はたらくって未来をつくること!」。自分がどんな未来を願っているか、自分に何ができそうか、何をやってみたいか…次につながる夢について考えるワークショップとなりました。

倉田奨励金
2023年度(第55回)
倉田奨励金 選考開始

倉田奨励金は、日立製作所の第2代社長、故倉田主税が日本の科学技術の発展を願って設立を提唱し、資金を出捐したことにより1967年に創設された研究助成金です。グローバルな社会課題解決力を担う次世代の研究者による自然科学・工学研究、および高度科学技術社会に通底する人文・社会科学的研究に対して助成を行い、2022年までに1,570名の研究者へ、総額約25億円の助成金を贈呈しています。

2023年度の募集は7月1日～9月15日に行い、現在、選考委員会で厳正に選考を行っております。今年度の採択者は2024年1月に決定(予定)し、同3月に日立財団WEBサイトで発表、贈呈式を執り行います。

倉田奨励金
倉田奨励金研究報告書
第52集 WEB版公開

日立財団は、倉田奨励金による研究成果を広く一般の方にも公表するため、年1回「倉田奨励金研究報告書」を発行しています。今年発行の52集には2019年度～2021年度に採択された研究テーマについて研究成果を掲載しています。下記URLにWEB版を公開いたしましたので、是非ご覧ください。

倉田奨励金研究報告書 第52集(2023年度発行)

<https://www.hitachi-zaidan.org/activities/kurata/reseach-report52.html>
※冊子版は12月に発行を予定しております



日立財団科学技術セミナー

第19回日立財団科学技術セミナー開催のお知らせ

日立財団では、科学の面白さや、科学の目で見える大切さを、幅広い年代の方々に感じていただくことを目的として、一般の方を対象に最先端科学技術研究を紹介する講演会「日立財団科学技術セミナー」を毎年行っております。今年度は、世界トップレベルの睡眠医学研究拠点、筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構から、機構長の柳沢正史氏を講師にむかえ「睡眠の謎」に迫ります。



テーマ 睡眠の謎に挑む～基礎研究から睡眠ウェルネスへ～
講師 筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 (WPI-IIIS) 機構長 柳沢 正史氏
日時 2023年11月12日(日) 13:30～15:00
会場+オンラインのハイブリッド開催
【会場】九段会館テラス302茜(代田区九段南1丁目6-5) 【配信】zoomウェビナー

動物はなぜ眠るのか？眠気の正体から究極の睡眠法まで～睡眠の謎に挑む

我々は人生の約1/3を睡眠に費やす。健やかな睡眠は健康と生産性の維持のために必須である。しかし最先端の睡眠学も「なぜ全ての動物が眠るのか?」「そもそも『眠気』の脳内での実体は?」といった根本的かつ身近な疑問に答えることができない。本講演では、これらの謎に挑む私どもの探索的基礎研究に加え、ウェアラブル脳波計測とクラウドAIによる在宅睡眠測定サービスInSomnograf(インソムノグラフ)による社会実装研究について紹介する。さらに、どうすれば質の良い睡眠を得られるか、最新の研究に基づいた究極の睡眠法についても解説する。

参加申込方法 参加方法をご確認のうえ下記からお申込みください。多数のご参加お待ちしております。

【会場】(定員100名 申込先着順)
会場参加ご希望の方はこちらのURL、QRコードからお申込み下さい。
<https://reg34.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=qcqg-mataqd-2d850dc5f88a39153b1ee1fe1fd9b742>



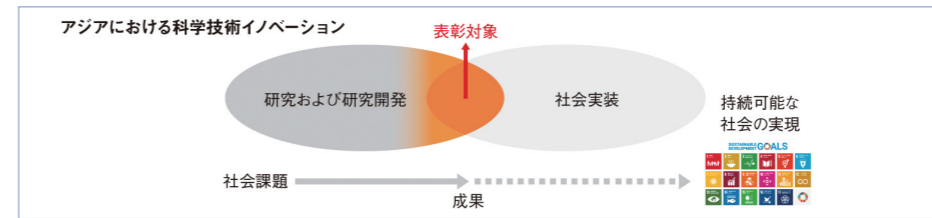
【オンライン】
オンライン参加ご希望の方はこちらのURL、QRコードからお申込み下さい。
https://zoom.us/webinar/register/WN_K-ojnN39TmWi9KRHAIK8jA



日立財団アジアイノベーションアワード
2023年度 受賞者選考実施

概要

日立財団アジアイノベーションアワードは、ASEANの社会課題解決と持続可能な社会実現に資する科学技術イノベーションを促進するために2020年度から開始した表彰事業です。本アワードでは、持続可能な開発目標(SDGs)への貢献を目的として、あるべき社会像を描き、科学技術の社会実装を計画に入れた優れた研究および研究開発において、画期的な成果をあげ、明らかに公益に供したと思われる個人またはグループを表彰します。2023年度の募集は4月1日～6月30日に行い、現在、受賞者選考手続きを進めています。2024年1月末に2023年度受賞者のウェブ公開を予定しています。



表彰内容

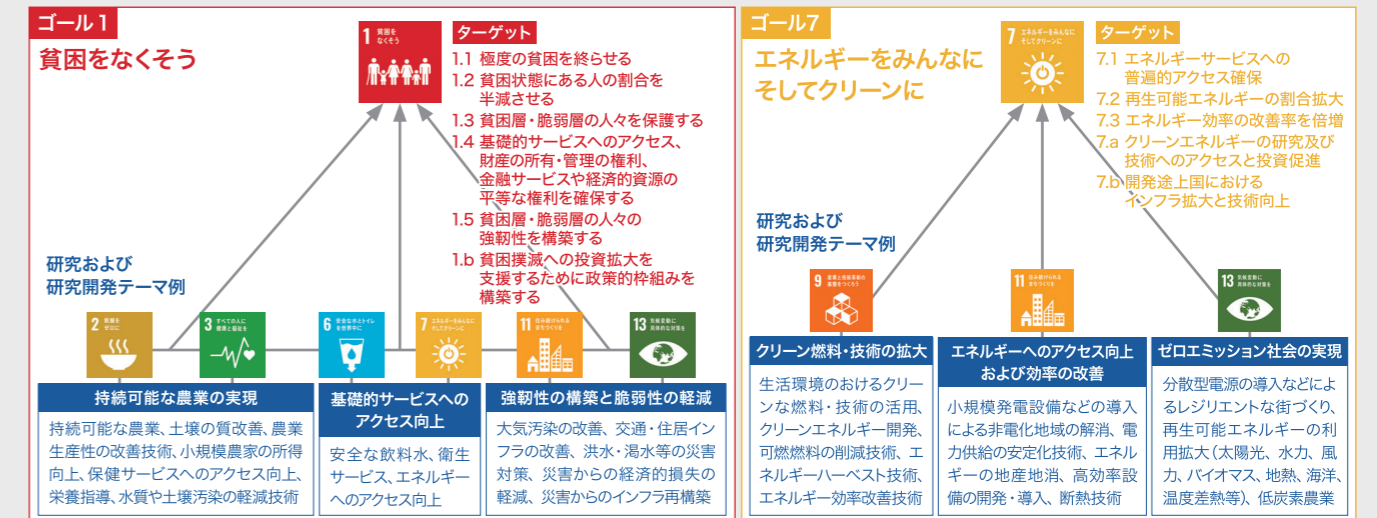
- 最優秀賞 300万円/件
- 優秀賞 100万円/件
- 奨励賞 50万円/件

募集内容

SDGsの17のゴールと169のターゲットのうち、毎年2つのゴールといくつかのターゲットを選定し、これらに貢献する研究および研究開発の成果を募集します。また、自国やASEANのあるべき社会像を描いた、成果の社会実装計画も提出いただけます。

【2023年度の募集内容】

2022年度のASEAN諸国のSDGs達成状況や世界情勢に鑑み、ゴール1「貧困をなくそう」とゴール7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」のそれぞれ以下のターゲットに貢献する研究および研究開発の成果を募集しました。



応募対象

募集内容に合わせて、毎年、ASEAN10か国の中から、対象国、対象大学および研究機関を選定し、各大学および研究機関より応募者を推薦いただきます。応募者は、個人またはグループで、対象大学または研究機関に所属する研究者、教員、学生です。

【2023年度の応募対象】

ASEAN諸国のうち、ゴール1とゴール7の課題が多く残るカンボジア、インドネシア、ラオス、ミャンマー、フィリピン、ベトナムの6か国を選定し、これらの国において、ゴール1とゴール7の研究分野で国を代表する、27の大学・研究機関を対象としました。

応募書類、選考基準、スケジュール、表彰実績(件数)については、日立財団アジアイノベーションアワード事業紹介ページをご覧ください。
<https://www.hitachi-zaidan.org/activities/award/index.html>

